

# 商工連プラザ

1  
VOL.357

商工会は 行きます 聞きます 提案します

新年のご挨拶



東京都商工会連合会  
会長 村越政雄

新年明けましておめでとうございます。  
令和三年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

多摩・島嶼地域の中小・小規模事業者は経営者の高齢化や後継者難など人手不足と共に生産性向上や事業承継問題に直面しております。

昨年はこれに加えて新型コロナウイルス感染症の深刻な影響を受け、事業所数や売上減少に歯止めが掛からない事態が続いております。今もなお収束の見通しが立たないことから、事業継続支援をさらに強化・拡充することが急務であります。

中小・小規模事業者が事業を継続するために専門家等による直接のアドバイスや事業者に寄り添った商工会経営指導員による伴走型経営支援を「層充実させて、この困難な状況を乗り越え経営回復に向けて事業の改革に立ち向かう多摩・島嶼地域の中小・小規模事業者を都連は強く支援して参ります。

「ウイズコロナ」という新しいステージで、感染を抑えながら「新しい日常」を定着させてい

くことが、多摩・島嶼の中小・小規模企業に求められております。

特に、ICTを効果的に活用したテレワークなど新しい働き方は、生産性向上と共に在宅勤務など感染拡大の防止に繋がる有効な手段であります。また適切な情報提供や専門的なアドバイスを受けることで新たな顧客開拓などビジネスチャンスを掴むことができます。

本年は延期された東京オリンピック・パリンピック大会が開催されます。大都市東京の近郊にある自然と融合した多摩や島嶼の魅力を観光需要やビジネスチャンスに結び付け、多摩・島嶼地域の持続的発展に繋げる絶好の機会であります。

都連は、「多摩観光推進協議会」を中心に、広域的なネットワークにより多摩を訪れて体験するプロジェクトや多摩地域や島嶼地域の持つ魅力を海外や国内へ広く発信して参ります。

多摩・島嶼地域の二十七商工会と共に中小・小規模事業者が事業継続するための経営戦略・経営改善・経営発達・持続的発展に関する事業を役職員一体となって推進して参ります。

## ▶ CONTENTS

- ② 令和3年「年頭所感」小池百合子東京都知事
- ②~③ 27商工会長・役員「今年の決意・抱負」
- ④ 令和3年度 東京都予算に対する知事ヒアリング  
「新しい日常の定着に向けた中小・小規模企業支援」など3つを重点項目として要望
- ⑤ 「商工会法施行60周年記念式典・商工会全国大会」開催  
「躊躇なく必要な対策をとり、再び強い経済を取り戻していきたい」と菅総理  
「コロナ禍克服のための中小・小規模事業者支援策の大幅な拡充」など6項目を決議
- ⑥ 東京多摩観光フェア~ヤマメの押し寿司や朝採れ野菜が人気~  
「ニッポン全国物産展」は規模縮小・オンラインの販売サイト開設  
「産業交流展」はヴァーチャル空間で開催予定  
東京諸島のアンテナショップ 吉祥寺にオープン
- ⑦ <連載>「わが社の経営革新計画」(矢野歯科医院・調布市)
- ⑧ <連載>「キラリ多摩の女性経営者」(もーど なかむら・あきる野市)

を応援します!!

# 上げます

ぞよろしく願い申し上げます

2021年元旦 東京都商工会連合会



東京都商工会連合会(国分寺市商工会会長)  
副会長 **込山 雄茂**  
「今こそ、会員とのつながりを  
強固にする」



東京都商工会連合会(福生市商工会会長)  
副会長 **山下 真一**  
「明日への希望を繋ぐ  
商工会を目標そう!!」



東京都商工会連合会  
会長 **村越 政雄**  
「今年こそオリパラを!!東京多摩、島しょの素晴らしさを世界に!!」



狛江市商工会(連合会理事)  
会長 **佐藤 高志**  
「創立60周年を迎え、より一層  
会員の事業継続に尽力します」



西東京商工会(連合会理事)  
会長 **松川 紀代美**  
「コロナに負けない商工会を  
目指して」



瑞穂町商工会(連合会理事)  
会長 **高水 英夫**  
「節目の設立50周年。会員企業の  
より一層の発展を祈ります」



羽村市商工会(連合会理事)  
会長 **増田 一仁**  
「改革と前進」



八丈町商工会(連合会監事)  
会長 **間仁田 聡**  
「コロナに負けず、工夫して  
地域経済をまわしていこう」

令和三年

## 年頭所感

東京都知事

### 小池 百合子



明けましておめでとうございませす。

坂本九さんが歌い、今もなお愛され続ける名曲「上を向いて歩こう」が誕生したのが1961年、ちょうど60年前のことです。戦後の復興期を脱し、高度経済成長へとひた走る激動の時代に人々の心を捉えたこの歌は、10年前、東日本大震災からの復興の応援歌としても、勇気と希望を与えてくれました。2021年の年頭に当たり、改めてこの歌に思いを馳せ、都民の皆様の幸せのため、力を尽くす決意です。そのためにも、新型コロナウイルス感染症を早期に乗り越えなくては

はなりません。この一年、見えざる敵との闘いの中で、都民・事業者の皆様、日常生活を支える業務に携わる皆様、そして医療従事者の皆様など、多くの方々のご尽力をいただきました。深く感謝を申し上げます。感染拡大を何としても食い止めるべく、都はあらゆる対策を講じてまいります。引き続き、お一人おひとりのご協力をお願いいたします。そして、国難とも言える危機に直面している今は、旧来の社会システムの変革を促す契機でもあります。その鍵は、デジタルの力です。これを徹底的に活用し、人が輝き続ける持続可能な社会へと復興を図る「サステナブル・リカバリー」を信念として、東京の明るい未来を切り拓いてまいります。

さて、今年の夏、都民・国民の皆様のご理解とご協力の下に開催を目指すオリリンピック・パラリンピック。その聖火は、今、小さなランタンの中で静かに灯り続けています。この火を聖火台へと繋ぎ、大きな希望の炎を輝かせるべく、安全・安心な大会運営のための準備を進めてまいります。新しい年が、皆様にとって幸多き素晴らしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

令和三年 元旦

東京都商工会連合会と27商工会は「2020東京オリンピック・パラリンピック」

# 謹んで新年のお慶びを申し

コロナに負けない地域小規模企業の繁栄・躍進に向け一層の支援をいたします。今年もどう

「」は今年の決意・抱負

 <p>東京都商工会連合会(稲城市商工会会長)</p> <p>副会長 <b>奈良部 義彦</b></p> <p>「アール・スモールサクセス 初期の成功を意識せよ!」</p>	 <p>東京都商工会連合会(三宅村商工会会長)</p> <p>副会長 <b>長谷川 一也</b></p> <p>「二人一人がゲームチェンジャー、新たな発想で!」</p>	 <p>東京都商工会連合会</p> <p>専務理事 <b>傳田 純</b></p> <p>「よっぽどの縁ですね。一丸となって勝利です!」</p>	 <p>三鷹商工会(連合会理事)</p> <p>会長 <b>岩崎 守利</b></p> <p>「コロナ禍だからこそ、商工会の存在価値を発揮しよう!」</p>	 <p>日野市商工会(連合会理事)</p> <p>会長 <b>山崎 清一</b></p> <p>「コロナに負けず、地元経済の礎になる商工会を目指す!」</p>	 <p>清瀬商工会(連合会理事)</p> <p>会長 <b>内野 光裕</b></p> <p>「丸となって困難に立ち向かい、新たな未来を切り開こう!」</p>	 <p>小平商工会(連合会理事)</p> <p>会長 <b>鈴木 庸夫</b></p> <p>「コロナに負けない!会員の拠り所になる商工会として活動!」</p>	 <p>小金井市商工会(連合会理事)</p> <p>会長 <b>信山 勝由</b></p> <p>「地域事業者と連携を強化し、共に前進して!」</p>
 <p>武蔵村山市商工会(連合会監事)</p> <p>会長 <b>田中 伸彦</b></p> <p>「モノレール延伸!新しいまちづくりに向けて!」</p>	 <p>東大和市商工会(連合会理事)</p> <p>会長 <b>小嶋 哲夫</b></p> <p>「春風を以て人に接し、秋霜を以て自ら肅む!」</p>	 <p>あきる野商工会(連合会理事)</p> <p>会長 <b>松村 博文</b></p> <p>「台併20周年 新しい時代に適応する組織を目指す!」</p>	 <p>国立市商工会(連合会理事)</p> <p>会長 <b>内藤 哲文</b></p> <p>「『コロナ減の刃』で地域経済の復興に全集中!」</p>	 <p>東村山市商工会(連合会理事)</p> <p>会長 <b>新義友</b></p> <p>「『コロナ禍収束が見えずとも 安心安全信頼の行動!』」</p>	 <p>東久留米市商工会(連合会理事)</p> <p>会長 <b>井田 清治</b></p> <p>「役職員が一致協力して 会員ののために!」</p>	 <p>調布市商工会(連合会理事)</p> <p>会長 <b>柳澤 勇</b></p> <p>「創立60周年 新しい時代にむけ ロケットスタート!」</p>	 <p>大島町商工会(連合会理事)</p> <p>会長 <b>岡山 正宏</b></p> <p>「的確な判断と順応性のサポートを目指します!」</p>
 <p>東京都商工会女性部連合会(連合会理事)</p> <p>会長 <b>廣瀬 可世子</b></p> <p>「『コロナに負けるな!』女性部が頑張る!飛躍の年に!」</p>	 <p>東京都商工会青年部連合会(連合会理事)</p> <p>会長 <b>齊藤 学</b></p> <p>「飛躍! Impulse 東京!」</p>	 <p>日の出町(連合会理事)</p> <p>会長 <b>清水 秀明</b></p> <p>「商工会を取り巻く環境変化に的確に対応する!」</p>	 <p>小笠原村商工会(オブザーバー)</p> <p>会長 <b>打込 由美子</b></p> <p>「経済活動の変化に 即対応できるよう先頭に立ちます!」</p>	 <p>神津島村商工会(オブザーバー)</p> <p>会長 <b>畷本 俊和</b></p> <p>「仕事は自ら創るべきで、与えられるべきではない!」</p>	 <p>新島村商工会(オブザーバー)</p> <p>会長 <b>前田 安久</b></p> <p>「災害時にも、商工業者が頼りにする商工会に!」</p>	 <p>昭島市商工会(連合会理事)</p> <p>会長 <b>平畑 文興</b></p> <p>「厳しい寒さの後に咲き誇る 梅の花のように今を頑張る!」</p>	



▲小池都知事に要望書を渡す  
村越会長(都庁)

村越会長は「新しい日常の定着に向けた中小・小規模企業支援」について、ウイズコロナという新しいステージで感染を抑えながら新しい日常を定着させなければならないと述べ、「事業継続、承継に取り組む小規模企業に対しては、引き継ぎ後の事業の発展までを見据え、経営と資金の両面で集中的な支援をお願いしたい」と要望しました。

また、「ウイズコロナでテレワークを行う企業が増えたが、多摩地域ではテレワークできる施設が少ない。駅近くのマンションの空き部屋などにリモートワークステーションを設置し、商店街や地域の活性化にもつなげていく仕組みを作りたい」と訴え、支援を求めました。

東京都商工会連合会(都商工連)は11月9日、都庁で行われた「令和3年度東京都予算に対する知事ヒアリング」に出席し、6項目を要望しました。そのうち「新しい日常の定着に向けた中小・小規模企業支援」「多摩の新しいものづくり」「観光振興」の3項目を重点項目に挙げ、多摩・島しょ地域の中小・小規模企業を強力に支援するための予算を、引き続き十分に確保するよう小池百石子東京都知事に要望しました。

**令和3年度**  
**東京都予算に対する知事ヒアリング**  
**新しい日常の定着に向けた中小・小規模企業支援**  
**多摩の新しいものづくり**／**観光振興の3つを重点に要望**

令和3年度

### 東京都予算に対する要望

- 一. 「新しい日常」に向けた中小・小規模企業支援
- 二. 多摩の新しいものづくり
- 三. 観光振興
- 四. 小規模企業振興
- 五. 多摩地域要望
- 六. 島しょ地域要望

(太字は重要項目)



▲3つの重点項目を要望

小のものづくり企業にとって優れた人材の確保は将来に向けた課題であり、外国人人材の戦略的活用なども長期的に支援できるよう配慮を」と訴えました。

「観光振興」では、「来年開催される東京オリンピック・パラリンピックは多摩・島しょ地域の魅力を海外に発信するまたとないチャンス」とし、とくに「東京の宝島」と呼ばれる島しょ地域の観光産業活性化へ向けた施策の充実を求めました。

都商工連の要望に対し小池知事は、「新しい日常の定着に向け、中小・小規模企業でのデジタル化、オンライン化による販売促進、創業に向けての支援について連携して進めていく。経営資源の円滑な承継への支援にも力を入れていきたい。小さなサテラ

イトオフィスのモデル作りだが、多摩地域でテレワークを拡大するため、ひとつの活路になり得る」などとして、支援に前向きな姿勢を示しました。

一方、モノづくり中小企業の振興は「都の産業政策で不可欠なものであり、オープンイノベーションで連携して進めたい」と語り、外国人の戦略的活用についても支援したいと理解を示しました。一方で、コロナ禍を機に生まれた新たなニーズやサービスについても触れ、「一過性のブームに終わることがないよう、働き方改革の点からも継続的に支援していきたい」と述べました。

「観光振興」について小池知事は、新しい日常を定着させつつ観光による地域活性化が進められるよう支援するとしたうえで、「オリンピック・パラリンピック時の多摩・島しょ地域への外国人観光客誘致を進めるためには、外国人が必要な情報にスムーズにアクセスできるように、ハード・ソフト両面のインフラの拡充が必要」とし、無線LANなどハード面に加え、多言語音声翻訳システムの機能強化などソフト面での支援も積極的に進めたいと述べました。

知事ヒアリングには、村越政雄会長と山下真一、込山雄茂、奈良部義彦、長谷川一也の4副会長、傳田純専務理事らが出席しました。

## 商工会法施行60周年記念式典

## 商工会全国大会 開催

「躊躇なく必要な対策をとり、再び強い経済を取り戻していきたい」と菅総理

全国商工会連合会（全国連）、都道府県商工会連合会、市町村商工会は11月18日、東京・丸の内東京国際フォーラムで「商工会法施行60周年記念式典」と「商工会全国大会」を開きました。新型コロナウイルスの感染が沈静化していない状況下での開催のため、各県連からの参加者を限定するなど規模を縮小し、万全な感染防止対策を施して開かれました。

商工会施行60周年記念式典では、森義久全国連会長が「商工会法が昭和35年に施行されて以来60年。この間、商工会が常に順風満帆だったわけではない。オイルショック、円高、リーマンショックなどの困難に見舞われてきた。ここ10年では東日本大震災はじめ、毎年のように自然災害があり、その都度強固な絆で困難を



▲「躊躇なく必要な対策は取る」と語る菅総理

乗り越えてきた。今年は、コロナ禍で全国の中小・小規模事業者は存続の危機に直面している。一日でも早く難局を突破し安心して事業活動を継続できるように一丸となって支援していきたい」と式辞を述べました。これに続き、来賓の菅義偉内閣総理大臣、梶山弘志経済産業大臣が祝辞を述べました。菅総理は「新型コロナウイルス拡大により、経済が落ち込む中において、全国の中小・小規模事業者の事業環境も、かつて無いほど厳しい。この過酷な状況乗り越え、企業活動を継続していただけるよう、持続化給付金、雇用調整助成金などで前例にとらわれない大胆な施策を講じてきた。引き続き、内外の経済状況を注視しつつ、躊躇なく必要な対策をとっていく。集中的に対策を立て

投資を行い、再び強い経済を取り戻していきたい」と述べました。

表彰式では、経済産業大臣表彰、中小企業庁長官表彰、全国商工会連合会会長表彰が行なわれ、代表者が表彰されました。

東京都商工会連合会では、次の方々が商工会が表彰されました。

■経営改善普及事業に関する表彰

【経済産業大臣表彰】

優良青年部▽東久留米市  
優良女性部▽八丈町

【全国商工会連合会会長表彰 役員功労者】

▽小金井市 副会長 金澤昭▽小金井市 理事

大森康雄▽大島町 理事 高木義久▽東久留

米市 会長 井田清治▽武蔵村山市 理事 平

井洋孝▽小笠原村 理事 宮城清美

【全国商工会連合会会長表彰 女性部功労者】

▽小笠原村 女性部 部長 辻井麻里子▽あき

る野 女性部 部長 高木妙子

■事業推進優良商工会等表彰

【全国商工会連合会会長表彰】

▽昭島市

（地名は商工会名、敬称略）

### 大会決議

- 「コロナ禍克服のための中小・小規模事業者支援策の大幅拡充
- 「小規模事業者を伴走型で支援する体制の強化
- 「災害からの早期復旧・復興支援の拡充とリスクマネジメント支援の強化
- 「販路開拓支援の拡充と多業種連携の推進
- 「中小・小規模事業者の活力向上を目指した金融・税制等の事業環境整備
- 「地域を支え、共に歩む唯一の経済団体としての商工会の組織力強化



▲6項目の大会決議を掲げた商工会全国大会

## 商工会全国大会

「コロナ禍克服のための中小・小規模事業者支援策の大幅拡充」など6項目を決議

引き続き、商工会全国大会が行われ、森全国連会長が挨拶しました。

また、各党を代表して、自由民主党の二階俊博幹事長、公明党の山口那津男代表、立憲民主党の枝野幸男代表がそれぞれ祝辞を述べました。

大会では政府や政党に対して商工会の意見を表明し、「コロナ禍克服のための中小・小規模事業者支援策の大幅拡充」など6項目（別掲）を決議しました。

ました。特産品のくさや、明日葉、塩辛、島レモンなどのほか、島酒の販売も行



▲くさは2日で完売。島酒も好評

東京都商工会連合会（都商工連）は、小笠原諸島を含む「東京諸島」のアンテナショップを吉祥寺・中通り商店会に12月12日、オープンし

## 東京諸島のアンテナショップ吉祥寺にオープン

都商工連

## 東京多摩観光フェア

### ヤマメの押し寿司や朝採れ東京野菜が人気!

多摩観光推進協議会、JA東京中央会などと共催

東京都商工会連合会の多摩観光推進協議会、西多摩地域広域行政圏協議会、東京都農業協同組合中央会（JA東京中央会）は10月20日（火）～24日（土）の5日間、東京・新宿のJA東京アグリパークで「東京多摩観光フェア」を開催しました。

多摩地域の自然や文化など観光の魅力発信と、地域の食材を生かした特産品の販売を行いました。

多摩観光推進協議会の2020年度事業の紹介や、大型3D立体マップの展示、西多摩地域4市3町1村の自然・文化の紹介パンフレットの配布、朝採れの東京野菜の販売のほか、奥多摩のヤマメの押し寿司のテイクアウトも行いました。東京野菜やヤマメの押し寿司は午後3時過ぎには完売でした。

コロナ禍での開催であり、事務局は手指の消毒、マスクの着用、ソーシャルディスタンス確保などを徹底し、お客様が安心して買い物ができるよう努めました。



▶賑わった東京多摩観光フェア



▶大型3D立体マップが人気

## 人事交流

【退職】（11月30日）▽都連・主事・経指

横田元貴

います。また、ガイドブックなどで島の魅力や楽しみ方などの情報も発信していきます。

期間限定のアンテナショップで、最終日は1月24日（12月29日～1月6日を除く）です。また、写真や映像の展示会も開催しました。

## 産業交流展がオンライン開催に

### ヴァーチャル空間でリアル展示場と同様に商談が可能

ヴァーチャル産業交流展2020 1月20日～2月19日

東京都、東京商工会議所、東京都商工会連合会などが主催する中小企業による国内最大級のトレードショー「産業交流展」が、今年初のオンラインでの「ヴァーチャル産業交流展2020」として開催されます。期間は1月20日～2月19日までの1カ月間です。

産業交流展は、首都圏（東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県）に事業所を有する個性的な中小企業の優れた技術や製品を一堂に展示し、販路拡大、企業間連携の実現、情報収集・交換などのビジネスチャンスを提供することを目的としています。今年のテーマは「MAKE FUTURE～シンカする日本の未来」です。

サイトへの来場者は3Dのヴァーチャル空間の展示会場に入り、実際に歩いているような感覚で展示ブース（ページ）を回ることができます。各出展者のページには、企業情報や製品情報があり、テレビ会議、テキストチャットなどのオンラインコミュニケーションツールも備えていて、リアル展示会同様に来場者との商談を行うことができます。



▲エリアの入口のページ（イメージ）



▲出展者のページ（イメージ）

## ニッポン全国物産展

### コロナ禍での開催で、安心・安全をアピール!

全国物産展オンラインセレクトは1月末まで

全国商工会連合会が主催する「ニッポン全国物産展」は11月21日～22日の2日間、東京・池袋のサンシャインシティで開催されました。今回は、新型コロナウイルスでの開催であり、期間を2日間に短縮するとともに、検温や消毒の徹底、事前登録による入場制限、定期的に消毒や換気を行うなど、安全・安心な開催を目指して行われました。

出店数は150店、出品数も約1500点と例年に比べ少なめですが、現地では味わえない地方のソウル

フードや名産品が東京で味わえるとあって、この物産展を楽しみにしているコアなファンも多く集まり、にぎわいを見せていました。会場では、500円のチケットで日本全国のお酒の飲み比べができる「酒好き横丁」も設けられ、約100銘柄の日本酒が味わえると好評でした。

また、全国連は「全国物産展オンラインセレクト」を開設しています。1月末まで全国の逸品をオンラインで取り寄せることができます。



新製品・新事業への挑戦で、さらなる飛躍を!

わが社の

## 経営革新計画 PART2 No.18

日本人の8割が罹患(りかん)していると言われる歯周病。その原因の多くは幼少期の歯列の悪さに起因することが厚生労働省の調査(2017年度歯科疾患調査)などで明らかになっています。

歯周病に対する関心が高まり、毎日歯を磨く人の割合が95%を超えているにもかかわらず、歯周病の症状のひとつである歯肉出血が20歳未満でも30%以上に達していることが分かっています。歯周病は長期間かけて症状が現れるものですが、10代後半から急激に歯周病患者が増えるのは「単に幼少期から成年期にかけて保菌していた歯周病菌が顕在化するため」とされています。

最近、小顔の子供が増え、そうした

歯科用3Dプリンター利用の小児歯科矯正治療  
歯周病治療の根本的な対策は小児の歯列矯正  
小児でも安心の超低被曝量歯科用CT採用  
世界基準のデジタル歯科医療を地域に提供



矢野歯科医院

院長  
矢野 章 氏

調布市商工会 会員

子の中に歯並びの悪い子が見かけられます。そこで、歯周病治療に力を入れている当院は、歯周病の根本的な対策として、小児の段階から歯列矯正を行うことが最も有効な手段であると判断しました。

今回、新規事業として「小児に対する歯列矯正治療サービス」に取り組みことを決め、「歯科専用3D(3次元)プリンター」による革新的な小児歯科矯正治療事業の展開のテーマで経営革新計画の承認に挑戦することにしました。

従来の歯科矯正は、金属ワイヤーを使うものがその多くを占めていました。しかし、2〜3年という治療期間の長さや、100万円を超える治療費の高さが問題となっていました。これに対して当院が目指す治療法では、ワイヤーを使用する矯正ではなく、マウスピースによる歯列矯正治療法であり、さらに大幅な治療費削減を可能とするなどの特徴があります。

当院が目指したのは、

- ①小児でも安心して撮影できる超低被曝な歯科用CT(コンピュータ断層撮影法)を使用
- ②歯科用3Dプリンターを使用した矯正用マウスピースの作成
- ③マウスピースの当日制作
- ④矯正の治療費は5万円(部分矯正)から50万円程度(全体矯正)

などの各項目をクリアするものです。歯科矯正のイメージを根本から覆す、

画期的な歯列矯正治療サービスになるものと確信しています。

新しい治療法の核になるのは、小児の顎部CT画像データが安全に撮れる「超低被曝機能付き歯科用CT」と、取得された画像データからマウスピース型の矯正器具を製作できる「歯科用3Dプリンター」などの最先端歯科医療機器です。具体的な治療では、まず、超低被曝機能付き歯科用CTから得た患者様のCT画像を分析し、治療方針と最終的な歯列のイメージング画像を作成します。次に、画像データを3Dプリンターへ送信し、マウスピース型矯正器具を作成します。

顎の成長に伴う歯列の変化の度合いに応じて軽度な場合は半年、重度でも1年半で、繰り返しマウスピースを作成し、それを装着することで少しずつ歯を動かして、最終的に噛み合わせの良い歯列になるように治療します。小児の場合は顎の発達スピードが速いため、慎重に経過観察を行いながら、定期的に来院するたびに作成していきます。

幸い、この事業について、2018年6月に都の承認を受けました。現在、導入予定だった最先端の機器の選定も終わり、既に一部で治療に入っています。結果は良好で、とくに当院において3Dプリンターでマウスピースを短時間で作成でき、小児の成長の速さにも迅速・的確に対応できることがメリ



▲超低被曝機能付き歯科用CTで診断

住所: 〒182-0024 東京都調布市布田2-21-3  
TEL: 042-488-3351  
URL: <https://8020.tokyo>

ットになっています。米国にある歯科用3Dプリンターメーカーでは世界の自社製品のユーザーから送られてくるCT画像のデータを蓄積し、ビッグデータとして使用するフェーズに入っており、AI(人工知能)を活用したマウスピースの作成も始めているそうです。

現在の歯科医療では、健康寿命を増進するため「できる限り歯を残す治療(保存治療)」が主流です。当院ではそれに加え、2003年にはCAD/CAMシステムを導入するなど、早くから歯科治療のIT化、デジタルデンティストリー(コンピュータ支援歯科治療)に積極的に取り組んできました。

今回の歯科用マウスピースを使用した「小児に対する歯列矯正治療サービス」への取り組みは、先端技術を活用し、より短期間でより安価な世界基準の歯科医療サービスを地域に提供するための試金石でもあります。



▲店主の木滑恭子さん(右)と妹の安藤麻梨子さん。

## きらり 多摩の 女性経営者

09

もーどなかむら

きなめり やすこ  
店主 木滑 恭子 氏

あきる野商工会 会員

### 服は出会い。少し冒険も!

五日市線の終点、JR武蔵五日市駅から徒歩5~6分のところに、ぜひ取材してほしい「面白い」婦人向け洋装店があると紹介された。この洋装店、約70年にわたって地元で愛され続け、客が絶えないお店という触れ込みだ。経営者がいいから、売っている商品がいいから、場所がいいからと、色々思いを巡らしてみたら、「五日市で繁盛する店」のイメージが浮かばない。ましてや婦人服を売る店である。

何がお客様の共感を呼ぶのか?それを探しに訪ねてみた。

店名は「もーどなかむら」という。立地はというと、店の前は横原街道で昼間は結構交通量が多い。周りは商店街というほど店が立ち並んでいる感じではない。店構えは落ち着いた。ただ、若者が気軽に入れる解放感はない。陳列してある洋服の量は多いのだが、どれも控えめな色合いでターゲットは中高年らしい。

店主の木滑(きなめり)さんに、そもそも、どのような経緯で五日市に店を作ったのかを聞いた。すると「その話をすると3代も辿らなければ」と言いながら話してくれた。まず、祖父が東京・赤坂で洋服学校の先生と銀座の洋服店で仕事をしていた。戦災で赤坂の家は焼かれ、疎開先である祖母の実家がある五日市に移住。その後、父がオーダーメイドの紳士服を作る店「テーラーナカムラ」を五日市に開業した。その頃は8人ほどの職人を抱えた店で、農協、銀行、役場などの職員がお得意様だったという。婦人服の店になったのは1980年。4人姉妹の2番目の木滑さんと4番目の安藤さんが店の経営にあたるようになって、店名も「もーどなかむら」に変えた。

木滑さんは「オシャレは、ハレの日だけにあるのではなく、日常の身近な場面でも心掛けて欲しい」と思っている。「日頃の様子はその人の印象を作るからです。無理はしない。けれど、手を抜かないオシャレを提案している」とのこと。また、旅行や発表会、同窓会などでは、それぞれ、周りの雰囲気に合わせて「TPOを考えたコーディネートをしてもらいたい」という。お客様の好みに合わせながら、少し冒険もしてみる。「それを後押ししてあげるのも私の役目だと思っている」という。お客様も「派手かあとか言いながら結構嬉しそうにしている」。

でも、一番気を付けているのが「着心地」だ。これはテーラーの父親の言葉。お客様がどんなにデザインが気に入っても、体形に合っていないと褒めない。20年、30年のお付き合いはザラという木滑さん、サッと選んでピッタリの服を差し出す。

好きな洋服は第一に色のトーンが落ち着いているもの、そう言えば店には花柄や原色の品物は少ない。セールストークに独自の木滑ルールがあるそうだ。「迷ったら今日は買うのをお止めください。夢に出てきたらまたおいで下さい」、「金額が合わないだけだったらお求め下さい。服は出会いだから」。ウーン。これは使えそうだ。

10日に1度のペースで、日本橋・馬喰町の卸問屋に仕入れに行く。これまで素材と縫製がいいことから多少高くついても日本製を選んできた。ただ「最近は輸入品ばかり」と嘆く。また、昔から懇意にしていた大きな問屋が消えつつあり、活気が失われてきていることを寂しく感じている。お客様に「こんなのが欲しいと頼まれる」こともある。「サイズも好みも分かるから、仕入れれば9割は売れる。私がセレクトしたものが気に入ってくださるお客様も多い」と少し誇らしげだ。

時々、都心から来たと思われるお客様が店内を見ているようだ。入口に「見るだけでもどうぞ!」って書いてあるけど、それだけでないような気がする」と、思い切ってその方に聞くと、「五日市で時間があったら訪ねてみたい店」というネットの記事を見たから」とのこと。

店でお客様を待っているだけでなく、月々テーマを決めてショーウィンドウの飾り付けをする。ひなまつり、ハロウィン、クリスマスなどなど。中でも7月末の「SALE」は夏の大イベント。それが終わると「8月1カ月は夏休み。二ノ宮に行ってるから…」というのが外向けの理由?「本当は店の改修や大掃除で汗を流していますよ」。ちなみに、土・日・祝日は休み。休みが多い店だが、少しでも長く営業を続けるため「今のペースを変えるつもりはない」そうだ。



▲店内は商品で一杯

● 〒190-0164 東京都あきる野市五日市133-5  
● TEL: 042-596-2225